

夜 — 朧げな際

黒宮菜菜

KURUMIYA Nana

2016.8.4 thu. — 8.21 sun.

11:00 — 19:00

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

(入場は18:30まで・月曜休館)

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

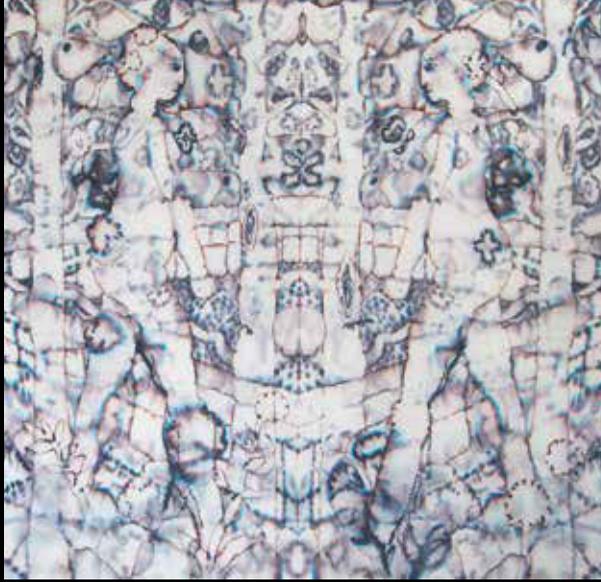
@KCUA

NOMURA 野村財団

主催：京都市立芸術大学 | 助成：公益財団法人野村財団



無題 / 2016年 / 60x45cm / 厚紙、木製パネル、油絵具、メディウム



透視少年 / 2016年 / 88x94cm / 楮紙、染

黒宮菜菜

KUROMIYA Nana

夜 — 朧げな際

2016.8.4 thu. — 8.21 sun. 11:00 — 19:00 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

この度、京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA にて、黒宮菜菜個展「夜—朧げな際」を開催致します。

黒宮は、自ら知覚できるものではなく、想像で補完されたものでしかない身体の輪郭の稀薄さや不安定さを「滲み」や「暈かし」によって表現してきました。その不明瞭な「際」は、その描写方法による物理的な輪郭の不確かさだけでなく、「描く」という行為と、液状に溶いた絵具そのものが広がっていくという「現象」との間で、描画する主体の揺らぎをも表しています。

そして黒宮は、この移ろう「際」を、「夜」になぞらえます。日が落ちて暗くなりゆくとき、物の輪郭は闇に溶け出すように曖昧なものになります。そして夜はいつも、昼との境目は不確かなままに、いつの間にか訪れているのです。

最近はその絵具の滲みを以前よりもコントロールすることができるようになったという黒宮の表現する「際」は、以前にも増して彼女自身の感覚に近づいたものとして表されます。本展にて発表される油彩画や和紙に染料で描いた新作絵画に描かれた、透明感の高い背景に溶けゆく「際」の痕跡や、重ねた和紙に滲ませた染料によるイメージのズレなどに導かれ、夜の世界を彷徨うかのようにどこか不安定な身体感覚が呼び覚まされることでしょう。それは私たち自身と世界を隔てる「朧げな際」との新たな出会いとなるのです。

黒宮菜菜 KUROMIYA Nana

1980年東京都生まれ。2012年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士（後期）課程美術専攻（絵画）単位取得満期退学。

2015年京都市立芸術大学・博士（芸術学）学位取得。主な個展に「トーキョーワンダーウォール都庁 2014」（2015、東京都庁第一本庁舎3階南側空中歩廊）、「黒宮菜菜展—流彩の幻景—」（2010、INAXギャラリー2、東京）、主なグループ展に「3人の絵」（2016、同時代ギャラリー、京都）、「トーキョーワンダーウォール公募 2014 入選作品展」（2014、東京都現代美術館、東京）、「極並祐・黒宮菜菜・三好彩展」（2012、渋谷ヒカリエ 8/CUBE 1, 2, 3、東京）、「ACG eyes 5: Four Paintings—黒宮菜菜・水田寛・塩入ゆり・新平誠 展—」（2012、ART COURT Gallery、大阪）、「Art Court Frontier 2010 #8」（2010、ART COURT Gallery、大阪）など。



京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
〒604-0052 京都市中京区押小路町 238-1
075 253 1509 | <http://gallery.kcuu.ac.jp>
京都市営地下鉄：東西線「二条城前」駅（2番出口）南東へ徒歩約3分
バス：「堀川御池」バス停下車すぐ



無題 / 2014年 / 36x45cm / キャンバス、木製パネル、油絵具、メディウム



See-through boy / 2014年 / 100x130cm / キャンバス、木製パネル、油絵具、メディウム